

日本災害医学会 学会主導研究
研究実施状況報告書

・研究代表者氏名：

五十嵐侑

・所属機関・職名・職種：

産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター・講師・医師

・研究課題名：

災害拠点病院における病院職員の健康確保に関する事業継続計画

・採択年度：2023年度

・研究期間：（ 3 ）年計画の（ 1 ）年目

・来年度研究助成申請を： 行わない

・来年度研究助成申請を行う場合には、以下に支出予定を記載してください。
(今年度未使用分があった場合には、表には含まず、表の下の項目にて記載してください。)

	令和	年	令和	年
施設備品費 (※)		円		円
消耗品費		円		円
旅費		円		円
人件費		円		円
その他		円		円
合計		円		円

※10万円以上かつ耐用年数1年以上のもの

※今年度未使用分予算があった場合には、以下に予定を記入してください。

例) 旅費：10,000円、人件費：20,000円

- 円
- 合計： 円

・研究実施状況の概要(800字以内で記載してください)

・現在までの進捗状況(下記ドロップダウンリストより選択してください)

進捗状況 やや遅れている

・現在までの進捗状況で「やや遅れている」「遅れている」を選択した場合には

その理由を200字以内で記載してください

理由：

本研究は、災害医学会主導研究を得てから進める予定であったが、採択結果通知

の遅れ（6月頃予定）と、不採択の通知（7月末）があったことから、一旦研究の進行が止まっていた。その後、通知の誤りがあったことが判明した時点（8月末）から研究を再開した。また、年明けからの研究を行う予定であったが、能登半島地震の発生により、行うことが難しくなった。

・今後の研究の推進方策(400字以内で記載してください)

2024年度以降は、被災した病院の職員へのインタビュー調査、BCPの質問紙調査、有識者のフォーカスグループインタビューなどによって、災害時の病院職員の健康確保施策を明らかにし、BCPに盛り込むべき事項について提言を行うものとする。また、全国の医療期間のBCP策定の参考となるように、収集した全国の災害拠点病院のBCPから健康確保施策の良好事例を紹介したホームページを作成する。

・研究発表(今まで全ての本研究に関する業績を論文と学会発表に分けて記載してください)

・宮崎柊人，五十嵐侑，後藤理沙，渡邊彩花，立石清一郎．災害拠点病院における職員の健康確保施策に関するBCP良好事例のインターネット調査．第16回福岡県医学会総会

・宮崎柊人，五十嵐侑，後藤理沙，渡邊彩花，立石清一郎．災害拠点病院における職員の健康確保施策に関するBCPインターネット調査．第29回日本災害医学会

・宮崎柊人，五十嵐侑，小井土雄一，久保達彦，福生泰久，五明佐也香，相川稜太，立石清一

郎. 災害時の病院職員の健康確保施策策定状況の調査. 第 97 回日本産業衛生学会 (演題採
択済み)

- ・日本災害医学会学術集会での研究発表の有無

発表状況 **あり**

「あり」を選択された場合は発表年や演題名等を記載してください。

- ・宮崎柊人, 五十嵐侑, 後藤理沙, 渡邊彩花, 立石清一郎. 災害拠点病院における職
員の健康確保施策に関する BCP インターネット調査. 第 29 回日本災害医学会

- ・「未定」を選択された場合、翌年度の学術集会で発表希望はありますか?
※ご意向に沿えない場合もございます。

発表状況 **この中から選択**